

2018年12月期 第2四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'A' and 'G'.

AGC株式会社

Your Dreams, Our Challenge

■ 戦略事業の取り組み等について	P.3
■ 2018年12月期 第2四半期業績	P.13
1. 業績のポイントと主要項目	P.14
2. セグメント別・地域別の状況	P.26
■ 2018年 通期業績の見通し	P.37
付属資料	P.43

戦略事業の取り組み等について

コア事業が確固たる収益基盤となり、
戦略事業が成長エンジンとして一層の収益拡大を牽引する、
高収益のグローバルな優良素材メーカーとなる

コア事業

ポートフォリオ経営の徹底による
長期安定的な収益基盤の構築

建築用ガラス

自動車用ガラス

ディスプレイ

基礎化学品

フッ素化学品

セラミックス

戦略事業

高付加価値ビジネスの拡大による
高収益事業の確立

モビリティ

エレクトロニクス

ライフサイエンス

AGC plus-2020 経営目標

	FY2017	FY2020	FY2025
営業利益	1,196億円	1,600億円 以上	2,292億円 以上 (過去最高益更新)
戦略事業 利益貢献比率	10%	25% 以上	40% 以上

戦略事業

モビリティ

つながる車／自動運転
情報表示の進化
輸送機器の更なる軽量化

① 5G（次世代高速通信）を事業機会に

エレクトロニクス

IoT/AI時代の到来
次世代高速通信／自動運転
新デバイスの普及

ライフサイエンス

安心・安全な治療
長寿命化
世界人口の増加

② 着実な成長の
ため増産体制構築

- ・高周波を用いる5G（次世代高速通信）の到来
一方、解決すべき課題も



高周波は減衰が大きい
(電波の届く距離が短い)

安定的な電波受発信ができる
高性能アンテナ

高周波は
- 電気信号の伝送損失が大きい
- 部材を透過しにくい

高周波を透過・伝播しやすい
部材・製品

AGCの技術基盤

アンテナ設計・開発技術

**フッ素樹脂、合成石英ガラス等の
低損失材料**

・5Gコネクテッドカー向け「オンガラスアンテナ」を設計・開発し、実証実験に成功

- 外観から見えにくく、車両のデザインを損なわずに設置可能
- 株式会社NTTドコモ、エリクソン社の3社共同で実証実験を実施
世界で初めて28GHz帯対応オンガラスアンテナで、
5G基地局と走行中の車両との間で無線通信に成功(※)

フロントガラスに設置した
オンガラスアンテナ



リアガラスに設置した
オンガラスアンテナ

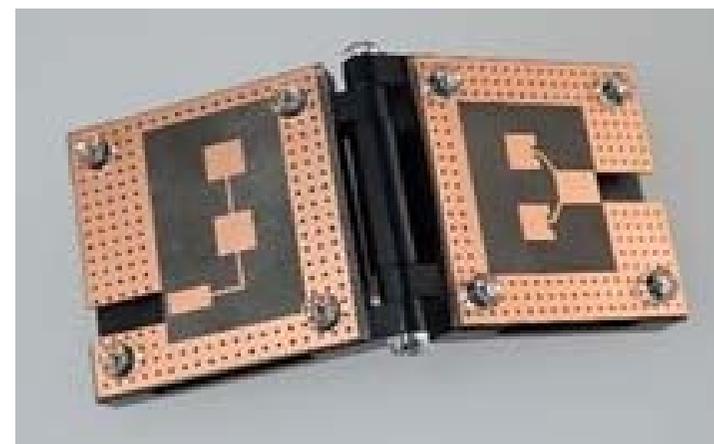


リアクォーターガラスに設置した
オンガラスアンテナ



※28GHz帯対応オンガラスアンテナで以下を達成
走行速度30km/h程度で最大11Gbps
走行速度100km/h程度で最大8Gbps

オンガラスアンテナ素子

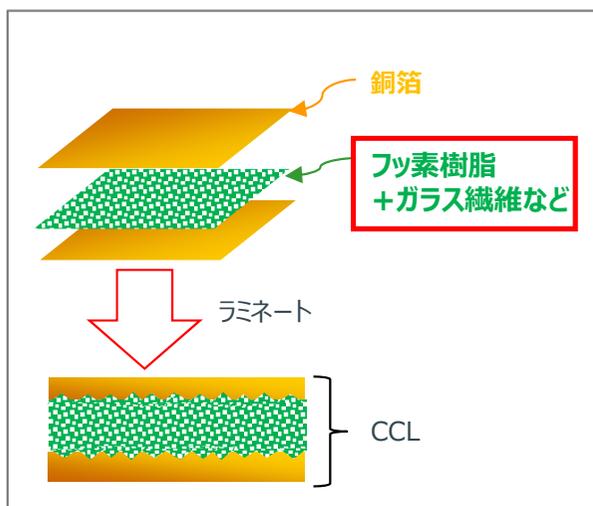


- ・Park Electrochemical社（米）のElectronics事業の買収を決定
- ・超低損失CCL（銅張積層板）技術を獲得

CCL:銅箔と絶縁樹脂から構成されるプリント基板材料

- 5G通信や自動運転に必要な高機能プリント基板材料
- AGCのフッ素樹脂との複合化により更なる高機能化が可能
- オンガラスアンテナ等のAGC保有のアプリケーションへも展開可能

CCLの模式図



買収の概要

【会社概要】

- Park Electrochemical Corp.
- 設立年：1954年
- 所在地：アメリカ ニューヨーク州

【買収対象：Electronics事業】

- 買収金額：約160億円（\$145Mil）
- 売上高：\$71Mil（2018年2月期）
- リジットCCL等の製造開発販売
- 米国、シンガポールおよびフランスの製造拠点をベースに、主に通信、ネットワークインフラ、自動車業界等の顧客に対してグローバルに事業を展開

※本件買収は、関係規制当局の承認を前提とします

- ・拡大する需要に合わせて製造能力を順次増強
- ・合成医農薬・バイオ医薬品の2つの柱で着実な成長を目指す

能力増強計画

合成医農薬

- ・千葉:GMP対応合成医薬品を10倍に増強
(2019年10月~)

バイオ医薬品 (微生物/動物細胞)

- ・バークレー:2,000ℓ培養槽を1基追加
(2018年1Q~)
- ・コペンハーゲン:2,000ℓ培養槽を5基追加
(2018年3Q~)

ライフサイエンス売上高

**2025年
(目標)
1,000億円**

**2020年
(目標)
600億円**

**2017年
(実績)
366億円**

- ・GMP対応合成医薬品製造能力を大幅増強（千葉工場）
- ・開発医薬品から商用医薬品まで一貫して生産できる体制を構築
 - －フッ素化学で培った有機合成技術に強み
 - －抗がん剤等に代表される、高薬理活性医薬原体などの取扱いの難しい原薬も製造可能

GMP: 医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (Good Manufacturing Practice)



・積極的な設備投資・M & Aを実施

	2016	2017	2018	2019	2020~
モビリティ					
エレクトロニクス					
ライフサイエンス					

- 車載ディスプレイ用カバーガラスの生産能力を増強
 - ◆ 三次元曲面形状の車載ディスプレイ用カバーガラスを量産開始
 - ◆ CFRTTP改良技術を開発
 - ◆ オンガラスアンテナを開発、実証実験に成功

- ◆ 深紫外線LED用石英レンズを開発
- EUV露光用フォトマスク blanks 供給体制の大幅増強を決定
- ★ 次世代パワー半導体材料のノベルクリスタルテクノロジー社に出資
- ★ Park Electrochemical社(米)の事業買収を決定

- ★ バイオミーバ社を買収・連結化
- ★ CMCバイオリジクス社を買収・連結化

- : 能力増強
- ★ : M&A・資本出資
- ◆ : 製品・技術開発
- : その他

- バイオ医薬品:AGC Biologicsとしてグローバル一体運営を開始
 - バークレー : バイオ医薬品培養槽の生産能力を増強
 - コペンハーゲン : バイオ医薬品培養槽の生産能力を増強
 - 千葉 : GMP対応合成医薬品製造能力を増強

・株主還元方針：連結総還元性向50%以上

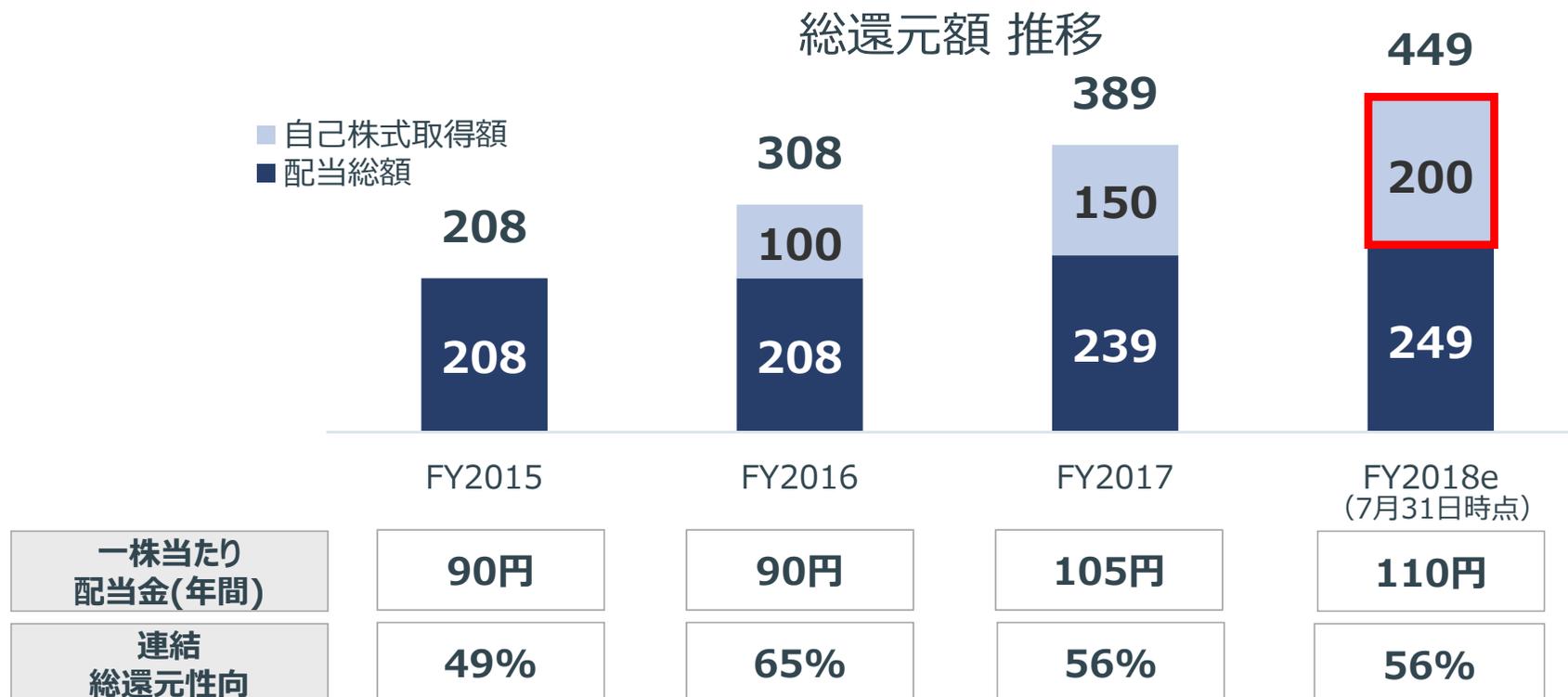
・自己株式の取得を決定

－取得総額：200億円（上限）（又は取得株式総数600万株を上限）

－取得期間：2018年8月1日～10月31日

※取得した自己株式は、全て消却予定

（単位：億円）



*2016年度分の自己株式取得は2017年2月に実施

*一株あたり配当金は株式併合（2017年7月1日付け）の影響を踏まえて換算しています

*2018年度の配当総額は、2018年6月末時点の株式数で算定しています

2018年12月期 第2四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目

連結累計期間

売上高	7,455億円	前年同期比	555 億円(8.0%)の増収
営業利益	603億円	同	110 億円(22.4%)の増益
税引前利益	649億円	同	161 億円(32.9%)の増益
親会社の所有者に帰属する			
四半期純利益	481億円	同	106 億円(28.2%)の増益

- 各事業の出荷数量増、前年1Qに買収した企業の連結化などにより増収増益
- 期初予想営業利益（550億円）を超過達成
- 営業利益の増加に加え、その他収益の増加により税引前利益も増益

連結純損益計算書

	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
売上高	3,546	3,730	+ 184 *	6,900	7,455	+ 555 *	
営業利益	271	297	+ 26	493	603	+ 110	
その他収支	10	-11		-13	34		
事業利益	280	285	+ 5	480	637	+ 156	
金融収支	15	19		8	13		
税引前利益	295	305	+ 10	489	649	+ 161	
法人所得税費用	-93	-47		-66	-118		
四半期純利益	202	258	+ 56	423	531	+ 108	
親会社の所有者に 帰属する四半期純利益	176	233	+ 57	375	481	+ 106	
非支配持分に 帰属する四半期純利益	26	25		48	50		
為替レート (期中平均)	JPY/USD	111.09	109.07	112.37	108.69		
	JPY/EUR	122.19	130.06	121.64	131.64		
原油	\$/BBL (Dubai)	49.8	72.1	51.4	68.0		

* うち、為替差影響は、2Q 売上高 +63億円、1-2Q累計売上高+129億円

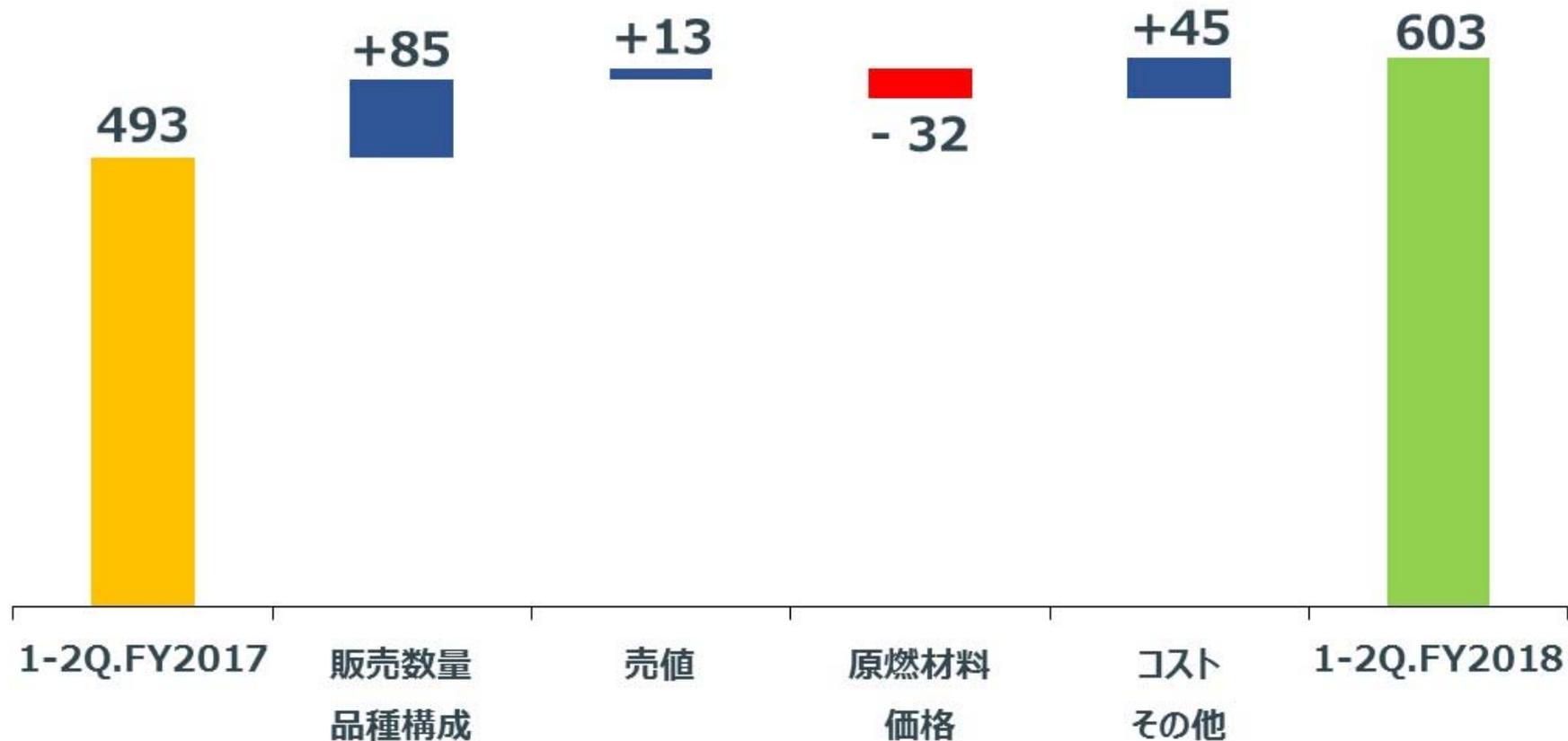
セグメント別業績 前年同期比較

	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
売上高	3,546	3,730	+ 184	6,900	7,455	+ 555	
ガラス	1,800	1,903	+ 103	3,570	3,816	+ 246	
電子	618	610	- 7	1,224	1,199	- 25	
化学品	1,050	1,150	+ 99	1,967	2,297	+ 330	
セラミックス・その他	186	215	+ 29	337	398	+ 61	
消去	-108	-148	-40	-199	-255	-56	
営業利益	271	297	+ 26	493	603	+ 110	
ガラス	68	77	+ 8	140	153	+ 13	
電子	49	43	- 7	91	100	+ 9	
化学品	149	167	+ 18	260	337	+ 77	
セラミックス・その他	4	11	+ 6	1	13	+ 12	
消去	0	0	0	1	0	-1	

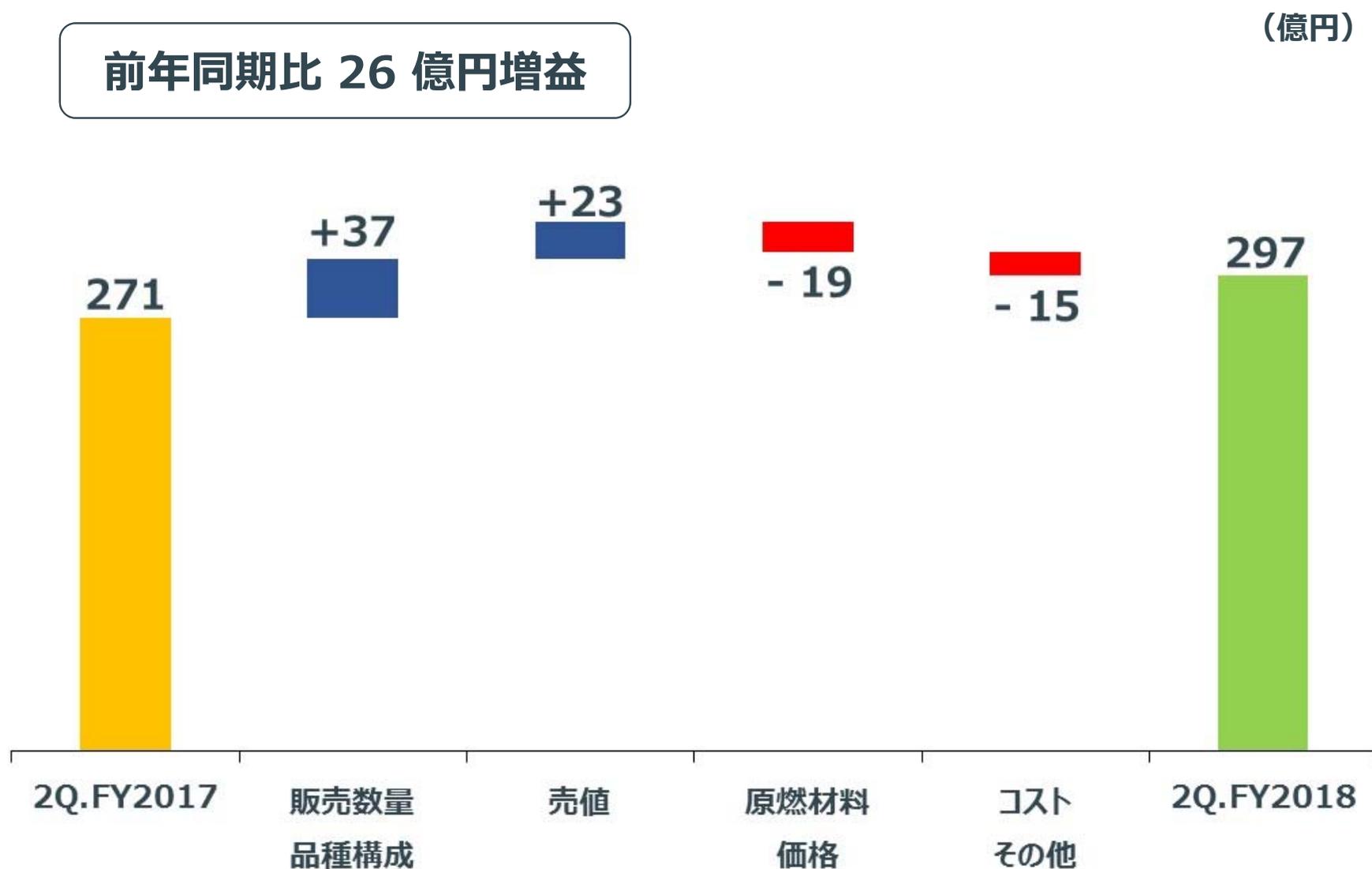
営業利益増減要因分析(1-2Q.FY2018 vs. 1-2Q.FY2017)

前年同期比 110 億円増益

(億円)



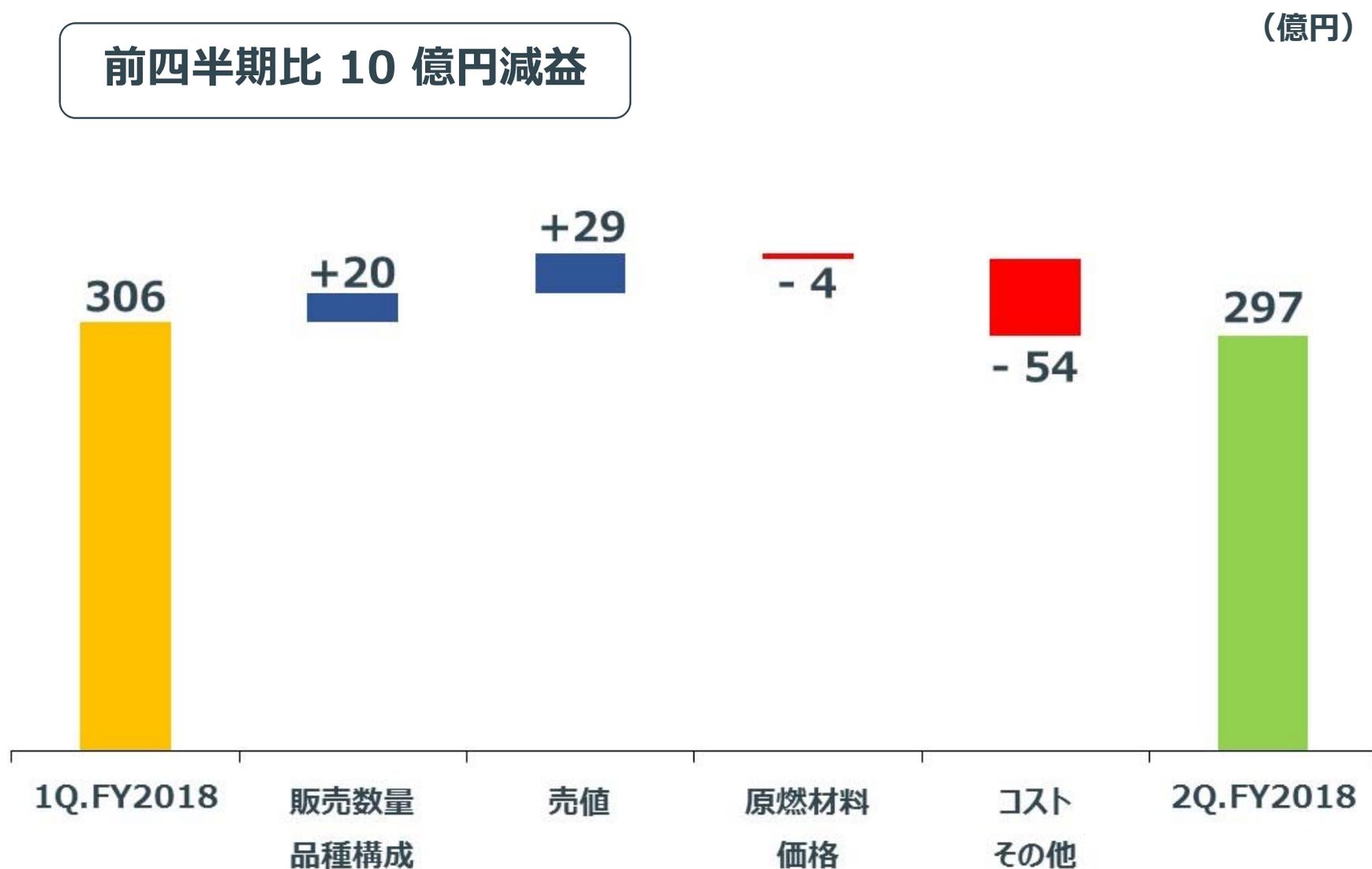
営業利益増減要因分析(2Q.FY2018 vs. 2Q.FY2017)



セグメント別業績 前四半期比較

	1Q.FY2018	2Q.FY2018	増減	増減%
				(億円)
売上高	3,725	3,730	+ 6	+0.2%
ガラス	1,912	1,903	- 9	-0.5%
電子	588	610	+ 22	+3.7%
化学品	1,148	1,150	+ 2	+0.2%
セラミックス・その他	183	215	+ 31	
消去	-107	-148	- 41	
営業利益	306	297	- 10	-3.2%
ガラス	76	77	+ 0	+0.2%
電子	57	43	- 15	-25.5%
化学品	170	167	- 3	-1.6%
セラミックス・その他	3	11	+ 8	
消去	0	0	- 1	

営業利益増減要因分析(2Q.FY2018 vs. 1Q.FY2018)



連結財政状態計算書

(億円)

	2017/12	2018/6	増減
現金及び現金同等物	1,264	1,299	+ 35
棚卸資産	2,617	2,638	+ 21
有形固定資産・無形 資産及びのれん	11,974	12,049	+ 75
その他	6,430	6,149	- 281
資産合計	22,286	22,135	- 151
有利子負債	4,891	5,089	+ 198
その他	4,496	4,384	- 112
負債の部	9,387	9,473	+ 86
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,840	11,584	- 256
非支配持分	1,059	1,078	+ 20
資本の部	12,899	12,662	- 237
負債及び資本合計	22,286	22,135	- 151
D/E比率	0.38	0.40	

うち、為替差影響
▲458

うち、為替差影響
▲713

連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	2Q		1-2Q累計	
	FY2017	FY2018	FY2017	FY2018
税引前利益	295	305	489	649
減価償却費及び償却費	316	307	627	610
運転資金増減	-136	-33	-140	-174
その他	-126	-171	-79	-280
営業活動によるCF	348	407	897	804
投資活動によるCF	-224	-434	-1,223	-783
フリーキャッシュフロー	124	-27	-326	21
有利子負債増減	-52	-31	70	209
支払配当	-	-	-104	-124
その他	-11	-33	-126	-11
財務活動によるCF	-63	-64	-160	74
現金等に係る換算差額	1	-14	-5	-60
現金等の増加額	61	-105	-492	35

	2Q		1-2Q累計 (億円)	
	FY2017	FY2018	FY2017	FY2018
設備投資額	343	683	661	1,179
減価償却費	316	307	627	610
研究開発費	105	112	207	217

為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

(億円)

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
1-2Q.FY2018	7,455	3,816	1,199	2,297
前年同期比	+ 555	+ 246	- 25	+ 330
[以下影響を除く前期比]	+ 287	+ 170	- 31	+ 145
為替換算の影響	+ 129	+ 107	+ 6	+ 15
連結範囲変更の影響	+ 139	- 31	-	+ 170

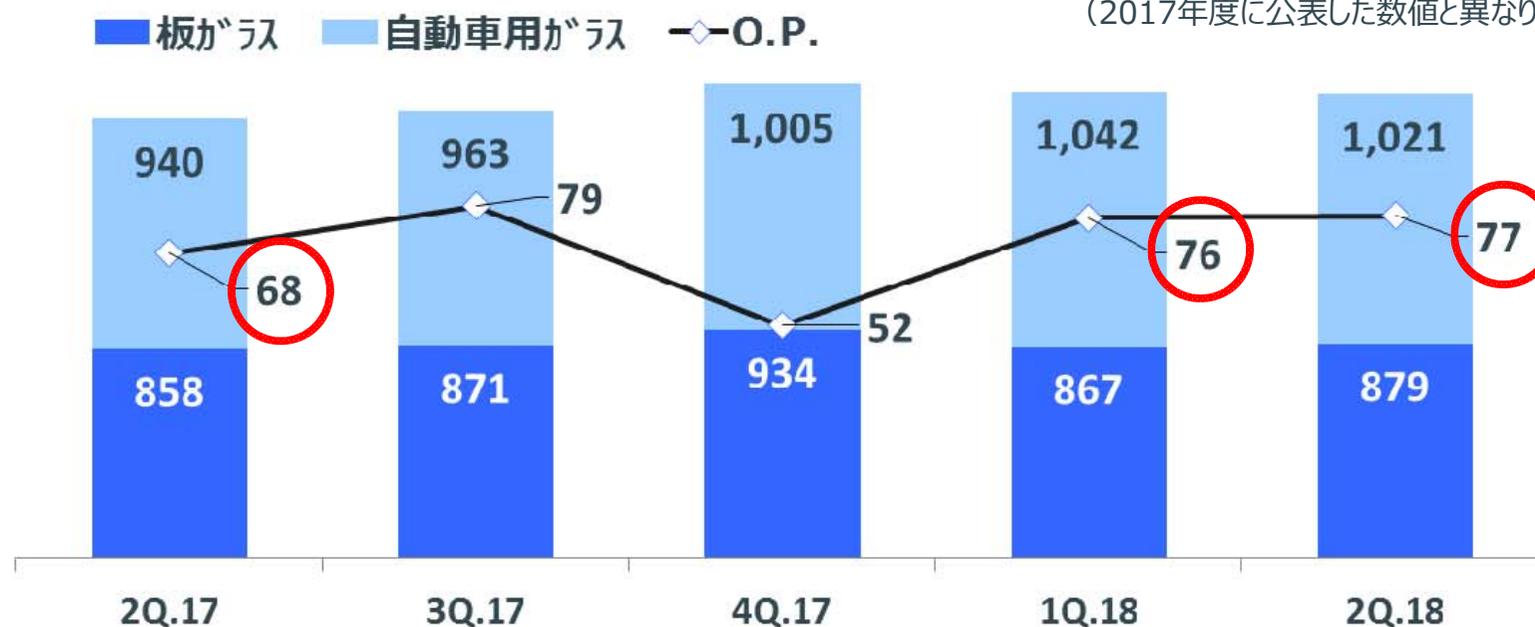
*全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

2. セグメント別・地域別の状況

ガラス セグメント (1)

	2Q			1-2Q累計		
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減
売上高	1,800	1,903	+ 103	3,570	3,816	+ 246
板ガラス	858	879	+ 21	1,674	1,746	+ 72
自動車用ガラス (セグメント間)	940	1,021	+ 82	1,892	2,064	+ 172
	3	3		4	6	
営業利益	68	77	+ 8	140	153	+ 13

* サブセグメントの売上高は外部顧客への売上高です。
(2017年度に公表した数値と異なります)



【前年累計比】

〔建築用ガラス〕増収

- 欧米で出荷が堅調
- ユーロ高の影響で円ベースの売上高が増加
- AGCフラットガラス・フィリピン社の売却により売上高減少

〔自動車用ガラス〕増収

- 全ての地域で当社グループの出荷が堅調に推移
- ユーロ高の影響で円ベースの売上高が増加

電子セグメント (1)

	2Q			1-2Q累計		
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減
売上高	618	610	- 7	1,224	1,199	- 25
ディスプレイ	479	455	- 24	946	904	- 42
電子部材	134	150	+ 17	269	286	+ 16
(セグメント間)	5	5		9	9	
営業利益	49	43	- 7	91	100	+ 9

* サブセグメントの売上高は外部顧客への売上高です。
(2017年度に公表した数値と異なります)

■ ディスプレイ ■ 電子部材 ◆ O.P.



【前年累計比】

〔ディスプレイ〕減収

- 液晶用ガラス基板：販売価格は下落も、出荷が増加。
- ディスプレイ用特殊ガラス：出荷が減少
- 車載ディスプレイ用カバーガラス：出荷が増加

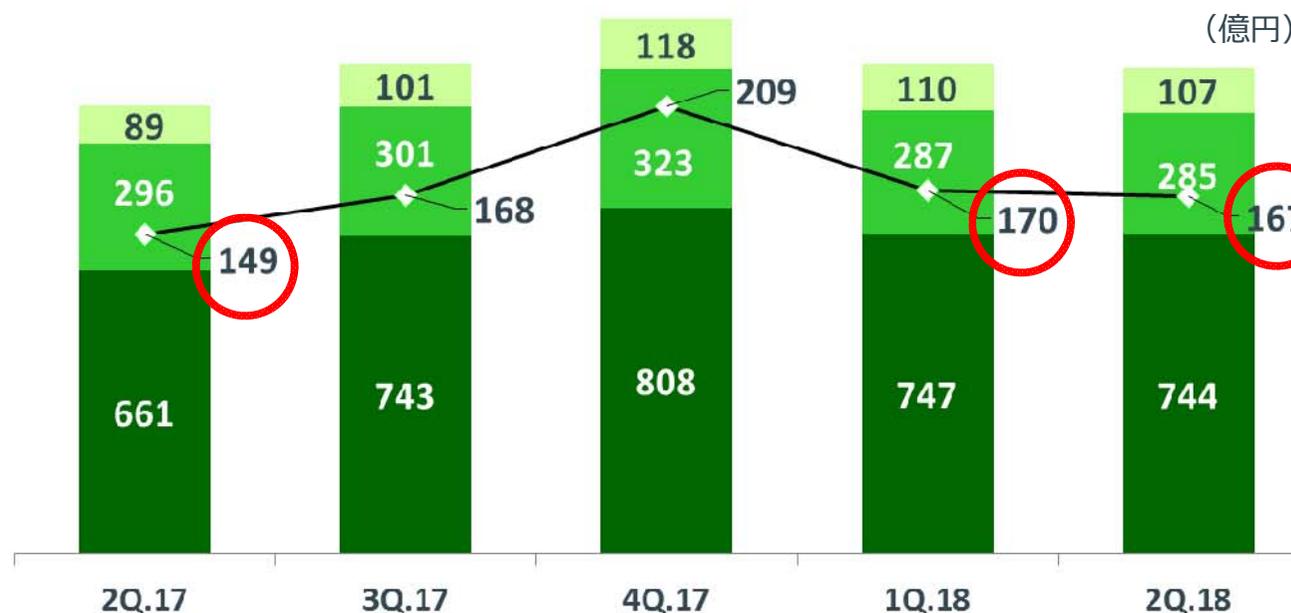
〔電子部材〕増収

- オプトエレクトロニクス用部材の出荷が減少も、半導体関連製品の
出荷が増加

化学品 セグメント (1)

	2Q			1-2Q累計		
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減
売上高	1,050	1,150	+ 99	1,967	2,297	+ 330
クロールアルカリ・ウレタン	661	744	+ 83	1,249	1,491	+ 242
フッ素・スペシャリティ	296	285	- 11	561	572	+ 11
ライフサイエンス	89	107	+ 19	147	218	+ 70
(セグメント間)	4	13		9	16	
営業利益	149	167	+ 18	260	337	+ 77

■ クロールアルカリ・ウレタン ■ フッ素・スペシャリティ ■ ライフサイエンス ◆ O.P.



* サブセグメントの売上高は外部顧客への売上高です。
(2017年度に公表した数値と異なります)

【前年累計比】

〔クロールアルカリ・ウレタン〕増収

- 国内および東南アジアでの苛性ソーダの販売価格が上昇
- 2017年3月から連結したビニタイ社のフル寄与

〔フッ素・スペシャリティ〕増収

- 半導体関連製品向けのフッ素樹脂をはじめとする
フッ素関連製品の出荷が堅調に推移

〔ライフサイエンス〕増収

- 2017年2月から連結したCMCバイオロジックス社のフル寄与
- 出荷が増加

地域別業績 前年同期比較

	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
売上高	3,546	3,730	+ 184	6,900	7,455	+ 555	
日本・アジア	2,330	2,391	+ 61	4,532	4,794	+ 262	
アメリカ	391	414	+ 23	767	836	+ 69	
ヨーロッパ	825	925	+ 100	1,600	1,824	+ 224	
営業利益	271	297	+ 26	493	603	+ 110	
日本・アジア	294	320	+ 26	565	648	+ 82	
アメリカ	15	17	+ 2	25	33	+ 7	
ヨーロッパ	40	57	+ 17	62	102	+ 40	
地域共通費用	-79	-97	- 19	-160	-179	- 19	

* 外部顧客向け売上高の内訳表示とし、併せて営業利益を調整していますので、17年度は前年度の公表数値と異なります。

地域別業績 前四半期比較

	1Q.FY2018	2Q.FY2018	増減	増減%
				(億円)
売上高	3,725	3,730	+ 6	+0.2%
日本・アジア	2,403	2,391	- 13	-0.5%
アメリカ	422	414	- 8	-1.9%
ヨーロッパ	899	925	+ 27	+3.0%
営業利益	306	297	- 10	-3.2%
日本・アジア	328	320	- 8	-2.6%
アメリカ	15	17	+ 2	+14.0%
ヨーロッパ	45	57	+ 12	+27.1%
地域共通費用	-82	-97	- 16	-

* 外部顧客向け売上高の内訳表示とし、併せて営業利益を調整していますので、17年度は前年度の公表数値と異なります。

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメン ト間	合計	
ガラス	板ガラス	1-2Q.FY2018	545	229	972	-	-
		1-2Q.FY2017	582	218	874	-	-
	自動車ガラス	1-2Q.FY2018	1,011	381	671	-	-
		1-2Q.FY2017	927	371	594	-	-
	1-2Q.FY2018	1,557	610	1,644	6	3,816	
	1-2Q.FY2017	1,509	589	1,467	4	3,570	
電子	1-2Q.FY2018	1,105	62	22	9	1,199	
	1-2Q.FY2017	1,152	46	18	9	1,224	
化学品	1-2Q.FY2018	1,958	165	158	16	2,297	
	1-2Q.FY2017	1,711	133	115	9	1,967	
セラミックス・その他	1-2Q.FY2018	174	-	-	224	398	
	1-2Q.FY2017	161	-	-	177	337	
消去	1-2Q.FY2018	-	-	-	-255	-255	
	1-2Q.FY2017	-	-	-	-199	-199	
合計	1-2Q.FY2018	4,794	836	1,824	-	7,455	
	1-2Q.FY2017	4,532	767	1,600	-	6,900	

* 17年の地域別売上高を外部顧客向け売上高の内訳に調整していますので前年度の公表数値と異なります。

売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメン ト間	合計	
ガラス	板ガラス	2Q.FY2018	269	117	493	-	-
		2Q.FY2017	296	112	450	-	-
	自動車ガラス	2Q.FY2018	493	188	340	-	-
		2Q.FY2017	452	188	299	-	-
		2Q.FY2018	762	305	833	3	1,903
		2Q.FY2017	748	301	748	3	1,800
電子	2Q.FY2018	565	29	11	5	610	
	2Q.FY2017	582	21	9	5	618	
化学品	2Q.FY2018	976	80	81	13	1,150	
	2Q.FY2017	909	69	67	4	1,050	
セラミックス・その他	2Q.FY2018	88	-	-	126	215	
	2Q.FY2017	91	-	-	96	186	
消去	2Q.FY2018	-	-	-	-148	-148	
	2Q.FY2017	-	-	-	-108	-108	
合計	2Q.FY2018	2,391	414	925	-	3,730	
	2Q.FY2017	2,330	391	825	-	3,546	

* 17年の地域別売上高を外部顧客向け売上高の内訳に調整していますので前年度の公表数値と異なります。

2018年 通期業績の見通し

2018年 通期業績見通しの主要項目

連結累計期間

(億円)

		FY2017	FY2018 予想	増減	増減%	FY2018 期初予想	増減
売上高		14,635	15,500	+865	+5.9%	15,500	-
営業利益		1,196	1,350	+154	+12.9%	1,300	+50
税引前利益		1,144	1,230	+86	+7.5%	1,180	+50
親会社の所有者に 帰属する当期純利益		692	800	+108	+15.6%	770	+30
一株当たり配当金 (円) *1		105	110				
営業利益率		8.2%	8.7%				
ROE		6.1%	6.9%				
為替レート(期中平均)	JPY/USD	112.19	110.0				
	JPY/EUR	126.67	130.8				
原油	\$/BBL(Dubai)	53.2	69.0				

*1 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*2 FY2018予想のROEは、2018年6月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

*3 FY2018下期の前提は130.0 JPY/EURです。

*4 FY2018下期の前提は70.0 \$/BBL(Dubai)です。

〔ガラス〕

- 建築用ガラス

- 多くの地域で出荷が増加

- 自動車用ガラス

- 欧州 : 市場成長を上回る高いレベルの出荷が継続
生産性の改善によりコスト減

- 原油価格の上昇が懸念材料

〔電子〕

- ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板

- 出荷は堅調に推移

- 価格下落幅は前年比縮小を見込む

- 車載ディスプレイ用カバーガラス

- 出荷は堅調に推移

- 電子部材

- 半導体関連製品の出荷が堅調に推移

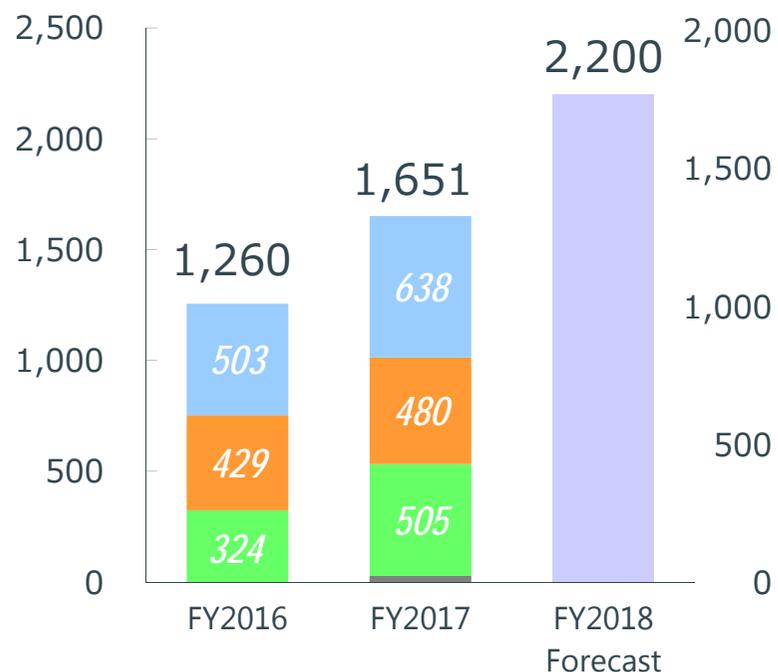
- オプトエレクトロニクスの出荷は下期に回復

〔化学品〕

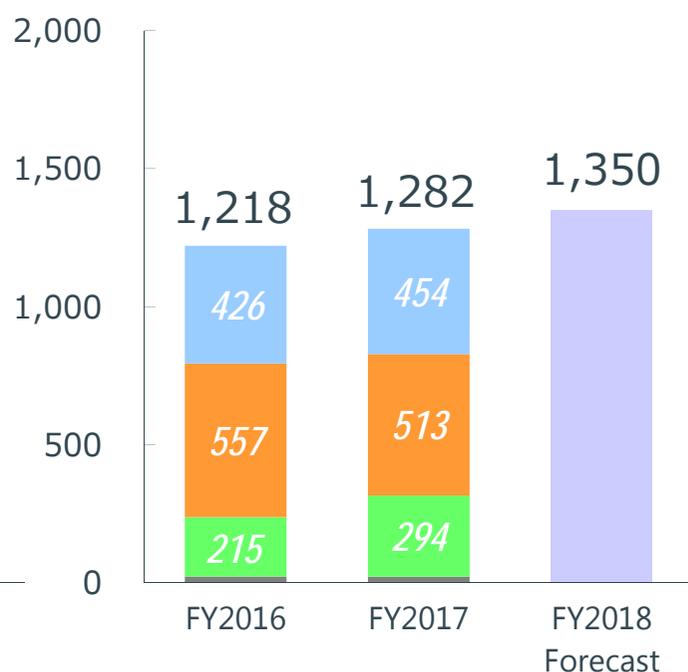
- クロールアルカリ・ウレタン
 - 東南アジアの出荷は引き続き好調
 - 日本の苛性ソーダ値上げが浸透
- フッ素製品
 - 前年に引き続き高いレベルの出荷を維持
- ライフサイエンス
 - バイオ医薬、合成医薬ともに出荷好調

(億円)

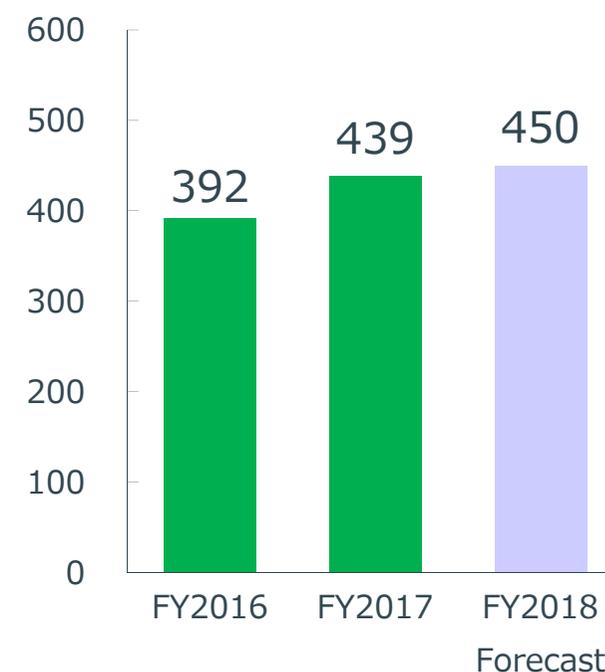
設備投資



減価償却費



研究開発費

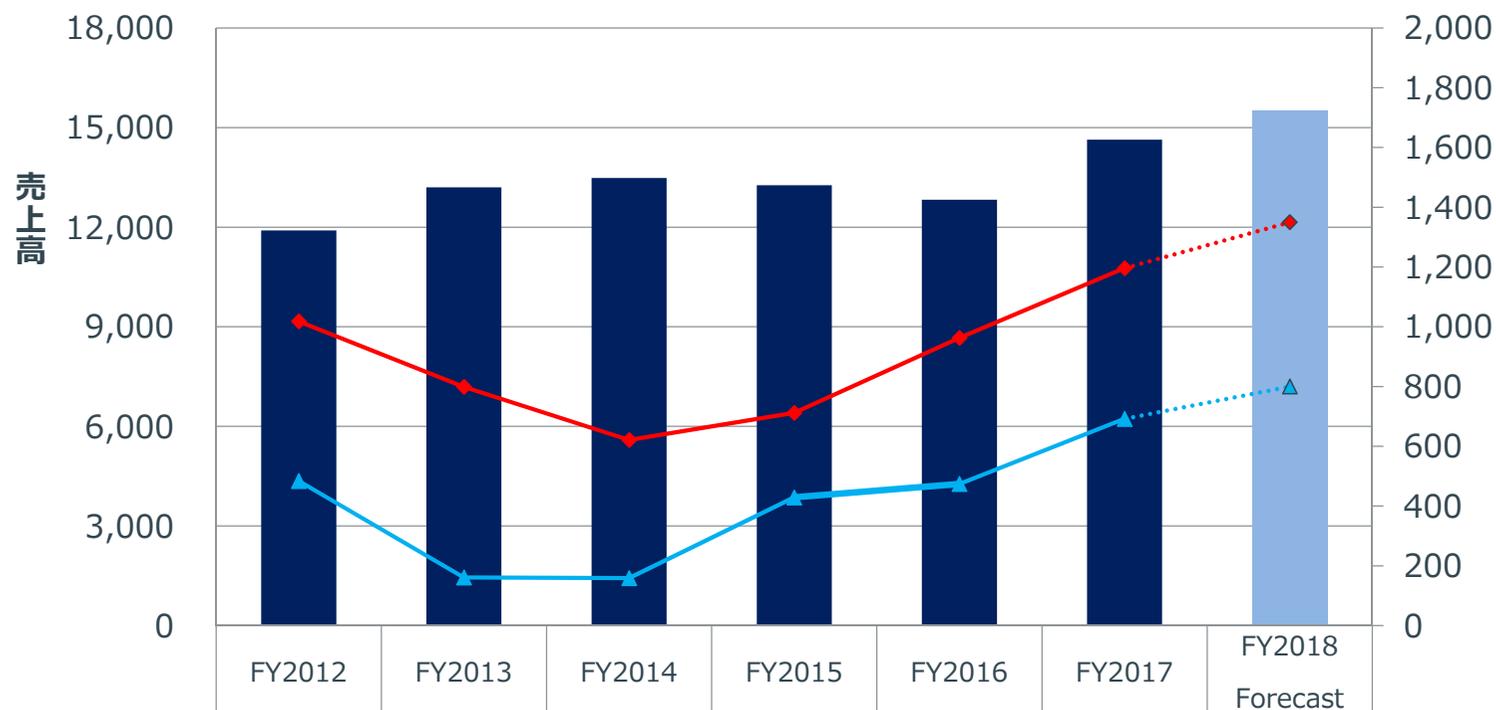


■ ガラス
 ■ 電子
 ■ 化学品
 ■ セラミックス・その他

付属資料

通期業績の推移

(億円)



営業利益・親会社の所有者に帰属する当期純利益

■ 売上高	11,900	13,200	13,483	13,263	12,826	14,635	15,500
◆ 営業利益	1,018	799	621	712	963	1,196	1,350
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	484	161	159	429	474	692	800
営業利益率	8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	7.5%	8.2%	8.7%
一株当たり配当金	¥130	¥90	¥90	¥90	¥90	¥105	¥110

*当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		IFRS					
		12/12	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12
自己資本当期純利益率(ROE) ^{*1}	%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%	4.3%	6.1%
総資産営業利益率(ROA) ^{*2}	%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%	4.8%	5.7%
自己資本比率	%	47%	51%	54%	55%	55%	53%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.56	0.50	0.42	0.40	0.37	0.38
営業CF/有利子負債	倍	0.32	0.29	0.27	0.40	0.47	0.42
一株当たり当期純利益 (EPS) ^{*3}	円	209.51	69.85	68.85	185.60	205.14	302.12
EBITDA ^{*4}	億円	2,000	1,866	1,859	2,284	1,958	2,499

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2017					FY2018		
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間	1 Q	2 Q	
円/ドル	期中平均	113.64	111.09	111.03	112.98	112.19	108.30	109.07	110.0*
	期末	112.19	112.00	112.73	113.00	113.00	106.24	110.54	
円/ユーロ	期中平均	121.08	122.19	130.38	133.01	126.67	133.22	130.06	130.0*
	期末	119.79	127.97	132.85	134.94	134.94	130.52	127.91	

* FY2018下期の前提

2018年 主要発表事項

発表日	内容
1月9日	バイオサイエンス事業の一体運営を開始
1月16日	深紫外LED用石英レンズを開発
2月5日	国内建築用ガラス関連製品の価格を改定
2月5日	EUV露光用フォトマスクブランク供給体制を大幅増強
3月6日	AGC Biologics社のバイオ医薬品培養能力を増強
3月22日	次世代パワー半導体材料のノベルクリスタルテクノロジー社に出資
4月6日	ミャンマーにマーケティング拠点を開設
6月6日	ブランドステートメント “Your Dreams, Our Challenge” を策定
7月12日	GMP対応合成医薬品中間体・原薬の製造能力を10倍に増強
7月25日	5Gコネクテッドカーに向けた「車両ガラス設置型アンテナ」による5G通信に成功
7月26日	米国Park Electrochemical社のエレクトロニクス事業を買収

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

AGC

Your Dreams, Our Challenge

END